

京都SDGsパートナー登録証



公益財団法人京都市国際交流協会は、
SDGs、CO₂ゼロに
取り組むことを宣言します。

●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

京都における「多文化共生」を目指して、各種相談業務を始め、異文化理解を促進するための交流活動等を通じて培ってきたノウハウを生かし、「多様な背景、文化を持つ人々との好ましい共存」のかたちを積極的に模索していく。そして「誰にとっても住みやすい社会」の実現を目指す。

●SDGsに関する重点的な取組●

印刷紙の再使用・再生紙利用に取り組むだけでなく、新たなつながりを築ききっかけと環境への配慮を両立できる、子育て中の方を対象として不要な子供服やおもちゃの無料交換会や、在住外国人の方を対象としてフリーマーケットを実施。

外国籍市民が京都で生活していく上での不便・不満を解消し、より快適な生活を実現するため、生活情報等を集めて公開する情報サービスコーナーの設置やSNS等での発信、サポート冊子の配布等により、情報を提供。安心して暮らせる社会づくりを実現するため、専門家による法律・ビザ相談、カウンセリングを実施。

多文化・異文化を尊重しながら共生できる社会の構築を目指し、外国人の採用や女性管理職の登用を積極的に推進し、多様な人材が活躍できる環境を整備。ボランティア活動の機会や人材育成の支援を行うだけでなく、職員のボランティアを推奨するためボランティア休暇を設けるなどワーク・ライフ・バランスを推進。

●文化や地域活動に関する重点的な取組●

伝統文化の伝達を通じた交流を図るため、「はじめてのお茶」「Enjoy! Kimono」「Let's try Ikebana」等の講座を開講。外国籍市民が地域のサポーターになるきっかけづくりとして、災害時に備えた各種訓練や、助けを必要とする人を地域で支える方法を教える講座等を実施。

2023年11月30日
(登録番号:00285)

公益財団法人
京都市国際交流協会
理事長 千玄室



京都市長
門川 大作

